

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果より

～我孫子第四小学校～

学力について

国語 … 全国・県平均正答率を『上回る』結果だった。
算数 … 全国・県平均正答率を『上回る』結果だった。

国語について

○『知識及び技能』『思考力、判断力、表現力等』のどの内容でも正答率が高い。

算数について

○『数と計算』『図形』『測定』『変化と関係』『データ活用』のどの領域でも正答率が高い。

自尊意識
生活習慣等

☆児童に対する質問紙調査結果より

教科への関心について

- 国語への関心は全国・県平均より『高い』結果だった。
- 算数への関心は全国・県平均より『やや低い』結果だった。
- 学習したことを生活に生かしていきたいと考えている。
- ICT 機器は学習に役立つと認識している。

生活習慣について

○規範意識が高く、基本的な生活習慣が身につけている児童が多い。

読書習慣について

- 読書が好きな児童の割合が全国平均より高い。
- 1日30分以上読書している児童が多い。

家庭学習の習慣について

- 平日や休日に1時間以上勉強をしている児童が多い。
- 家で、自分で計画を立てて学習している児童が多い。

その他について

- 助け合ったり、協力したりして人の役に立とうとしている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことと認識している。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家庭で話し合い、約束したことを守っている児童が多い。
- 学校に行くのが楽しく、友人関係に満足感を得ている児童が多い。

【調査結果からの今後の取り組みについて】

国語

- 全項目で全国や県平均より高いが、特に「書くこと」については平均を大きく上回っている。校内研究のテーマとして「書くこと」を中心に組み込んだ成果が見られるため、引き続き学びタイムの取り組みを行っていく。
- 文章を書く際は、目的や相手をきちんと意識させ、それらに応じた書き方をする。
- 国語科の学習の中で、短作文を書く時間を設け、書くことに慣れ親しむ。
- ICT を活用し、個別最適な学びの場を積極的に設定していく。
- 国語を中心として、どの教科でも「自分の言葉でまとめを書く活動」を継続して行っていく。

☆上記の他に、我孫子市の分析による国語科の日常的な取り組みも実施していきます。

算数

- 課題のあった設問について分析し、指導学年と学習指導要領の指導内容を明確にして、今後の指導に役立てるとともに、補習の手立てを考える。
- 問題解決型の学習を取り入れ、目的意識を持って取り組めるようにする。
- 算数の学習が生活のどの場面で生かすことができるのか気付かせ、学習することの必然性を持たせる。

☆上記の他に、我孫子市の分析による算数科の日常的な取り組みも実施していきます。

自尊意識・生活習慣・その他

- 自他の良さを認め、励まし合える指導・活動を継続する。
- 1人1台タブレット端末を活用し、ICT 機器による学習の効率化を図る。
- 「いじめは何があってもゆるさない」という雰囲気は今後も継続していく。
- 「いのち・こころ・からだの学習」などを通して、自分や他者の存在が尊いものだと実感させる機会にしていく。
- 高い規範意識を継続するために、今後も『四小児童の基礎・基本』を大切に指導する。
 - ・『ハイ』という返事
 - ・あいさつ
 - ・『ありがとう』『ごめんなさい』
 - ・くつ、かさをそろえる